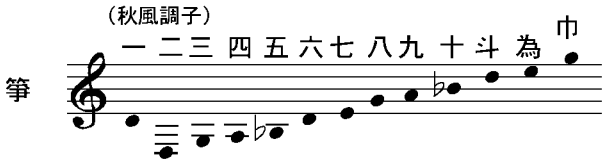
# 瞬庵

（2001年）

勅使河原宏の追憶に

## 箏 1

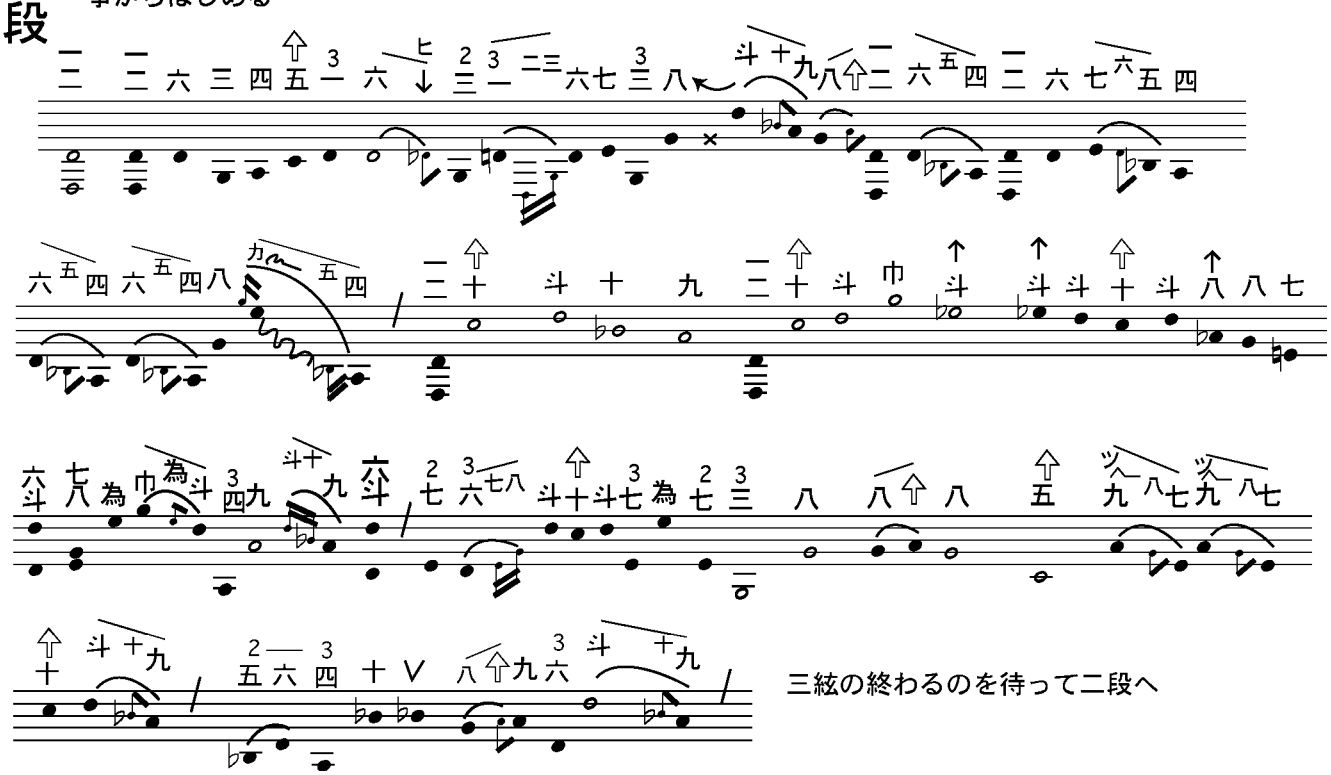
演奏法：
楽譜はだいたいのもの　変えてもよい
拍はない　他の楽器とそろえない
きこえる音のあいまにじぶんの音色を差し入れるようにして
一音ずつ間をつめ　あるいはひらく




調絃：
絃はできるだけゆるく張る
他の楽器とはすこしずれるように　完全に合わせない
四、五、七、九、十、為は低めにとる
押し手は弱めにし、上がりきらずに

## 初段

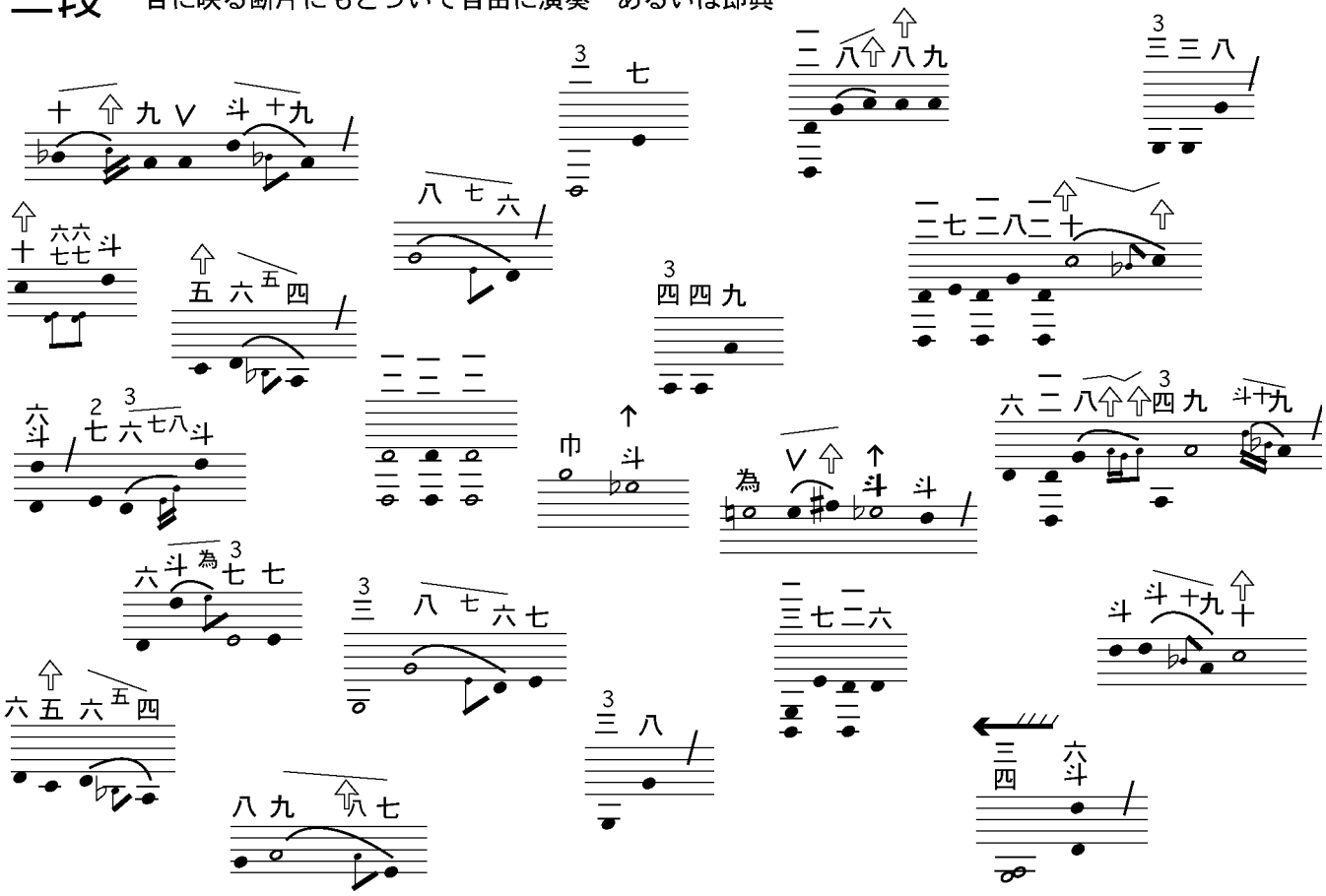
箏からはじめる



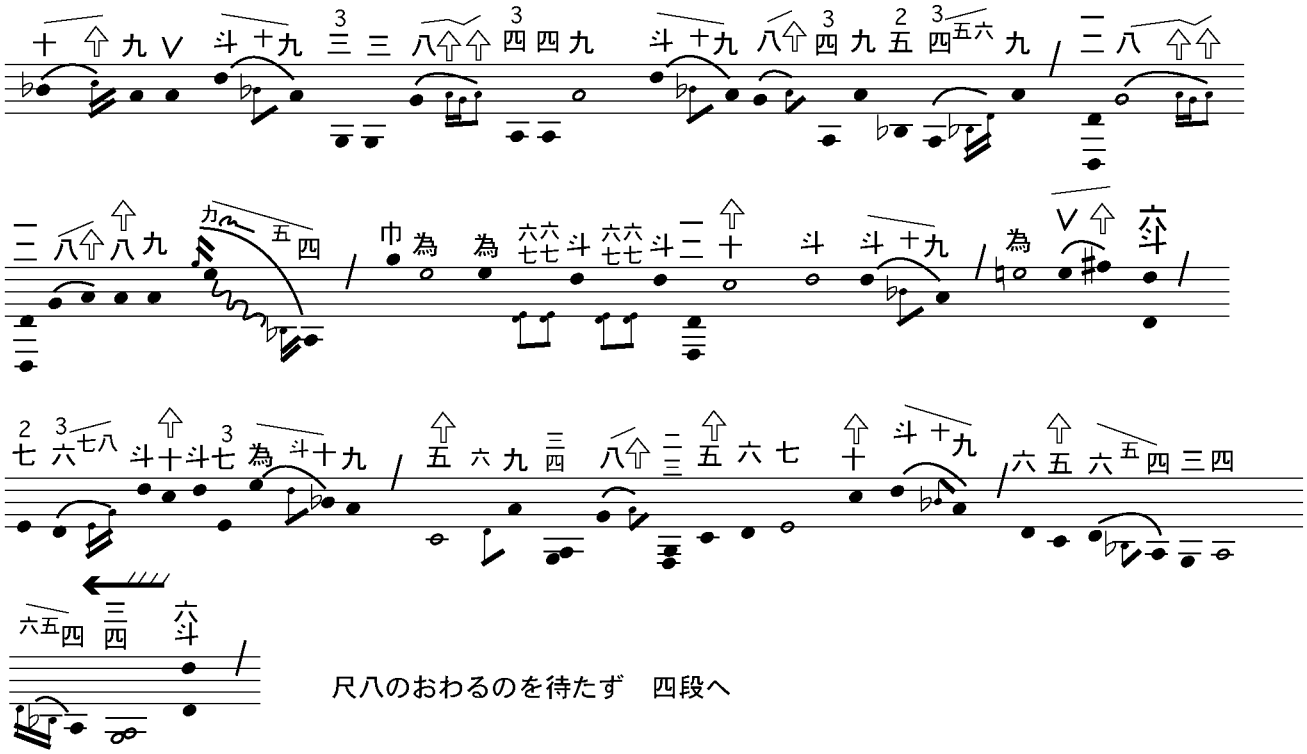
三絃の終わるのを待って二段へ

# 箏 2

## 二段　目に映る断片にもとづいて自由に演奏　あるいは即興



## 三段　箏・三絃はほぼ同時にはじめ　かなりおくれて　尺八が入る

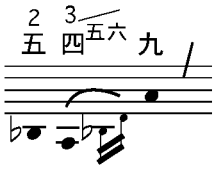


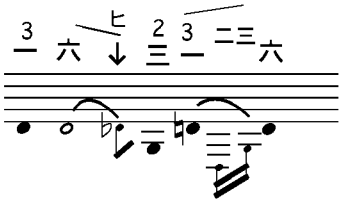
尺八のおわるのを待たず　四段へ

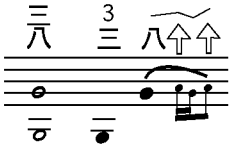
# 箏 3

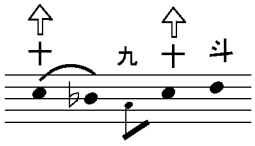
## 四段

箏　三絃　目に映る断片にもとづいて演奏　あるいは即興
尺八がおわるとひときわ暗くなり　そのなかで唄
唄は　次の詩句を箏・三絃で分担し
目に映る手に合わせ
あるいは手のあいまにうたい（フシは自由）
あるいは語る

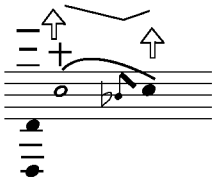


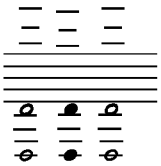



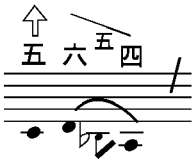



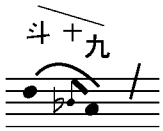

海辺の松の傾き　に寄せかけられた



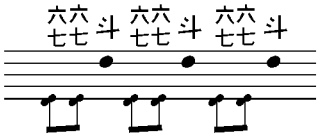


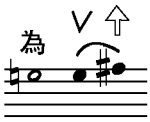
すきまだらけの空間



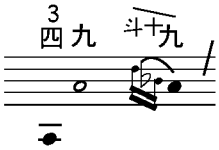



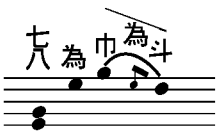

近づくと

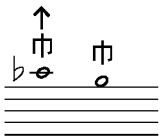


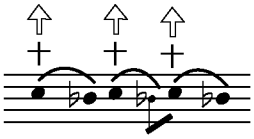

この仮屋の内側も　やはり砂丘

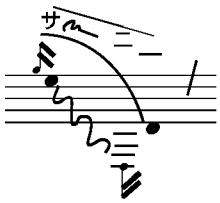


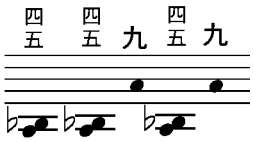



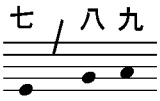

家は　幻



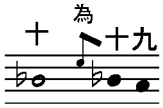


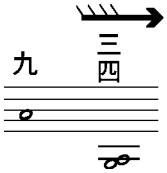

どこからともなく　人びとがあらわれ




なにかを待ちながら　空を見ている

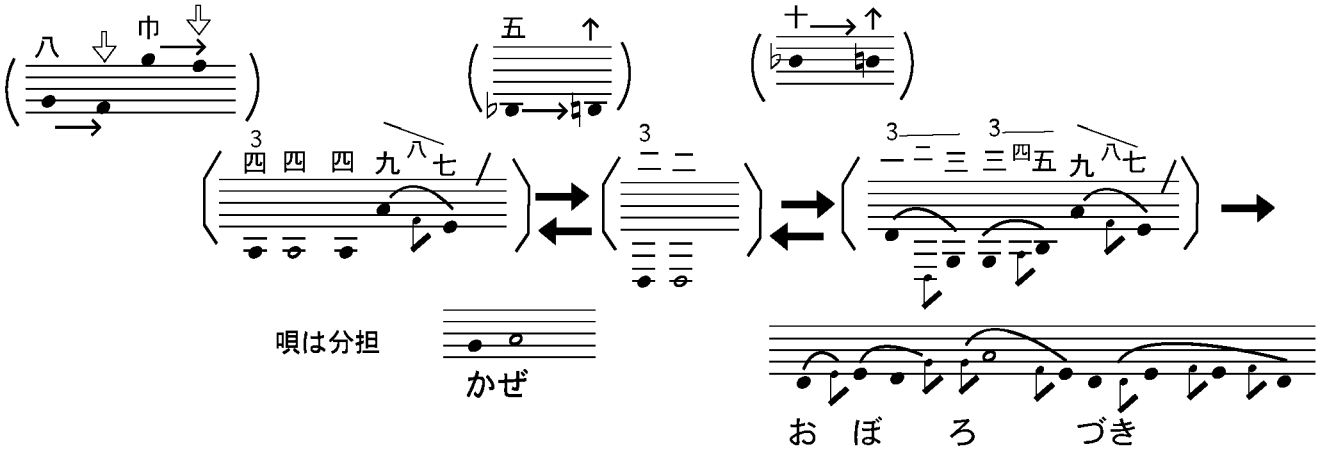


# 箏 4

書かれた断片にもとづいて即興的に長く演奏し
しだいに次の断片に移る
前にもどってもよい

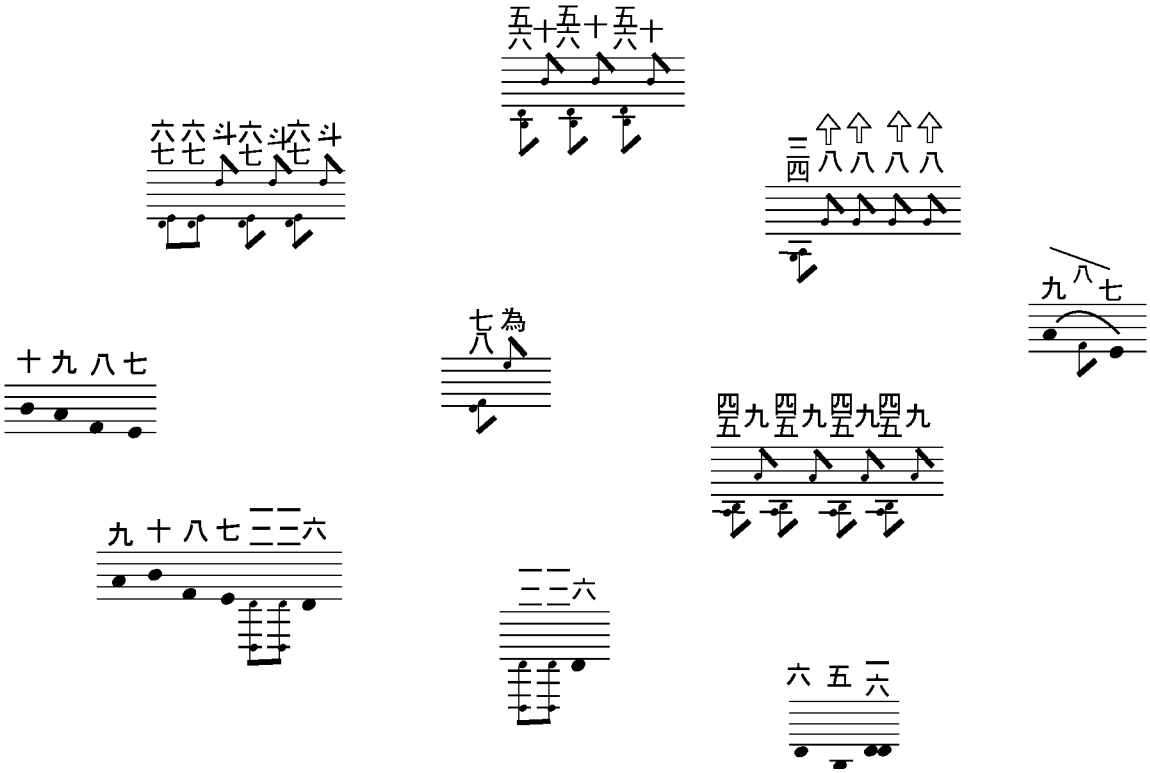
柱をうごかす




---

# 合の手

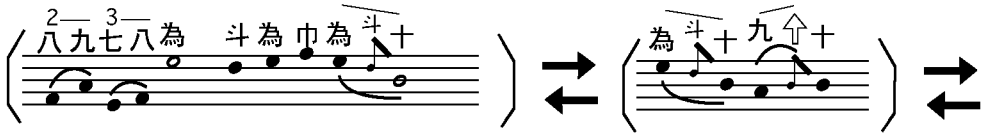
目に映る断片にもとづいて自由に演奏　あるいは即興



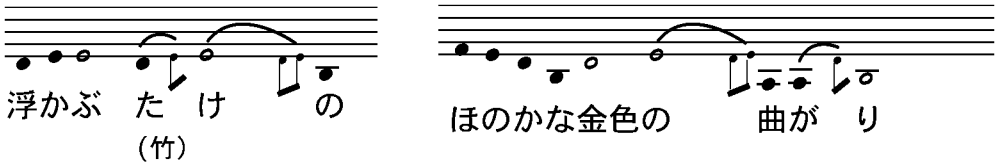
# 箏 5

## 後唄

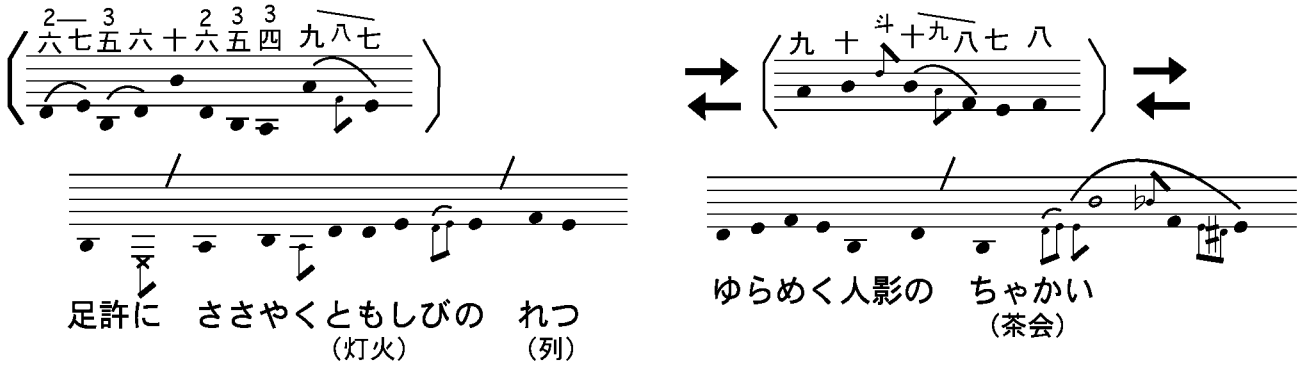
書かれた断片にもとづいて長く即興的に演奏し
しだいに次の断片に移る
前にもどってもよい



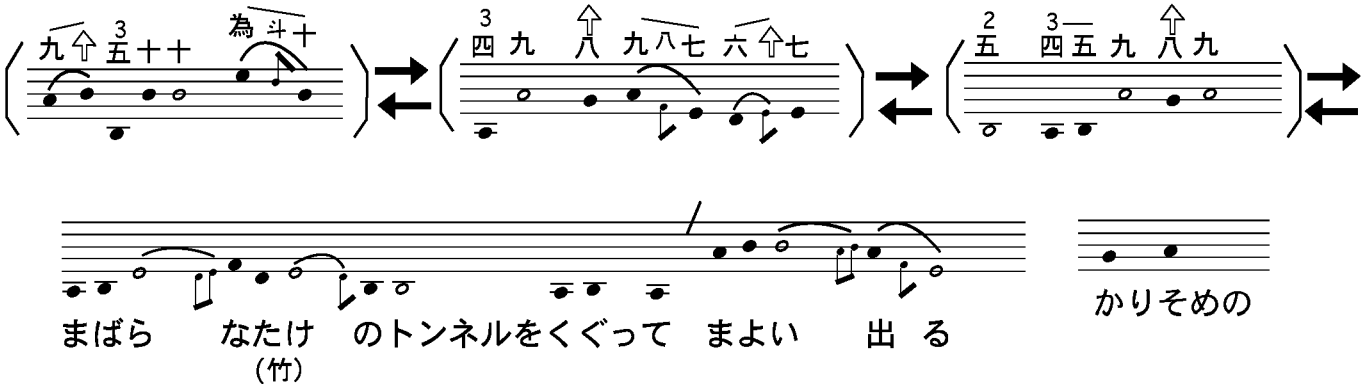

唄は分担



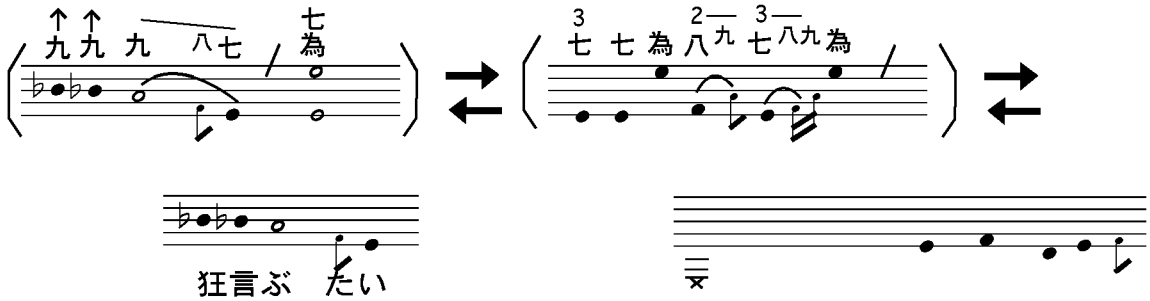

---



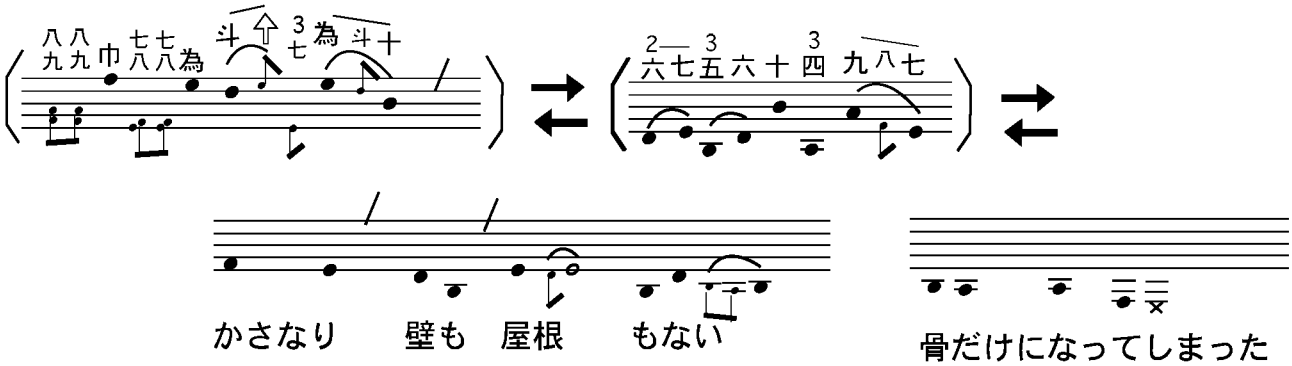

---

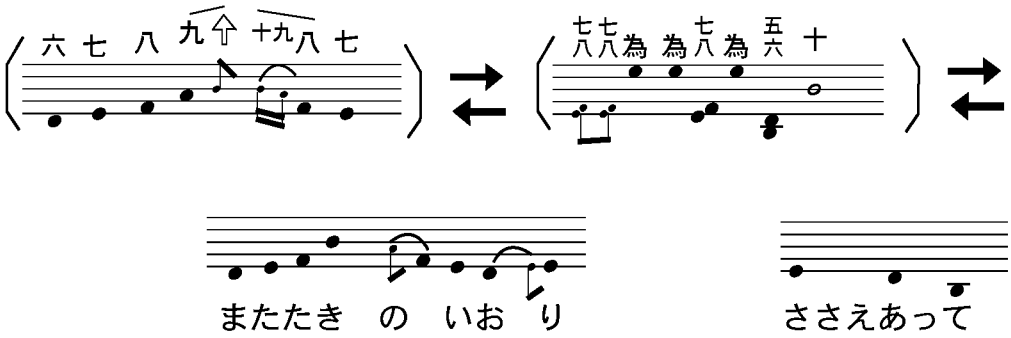


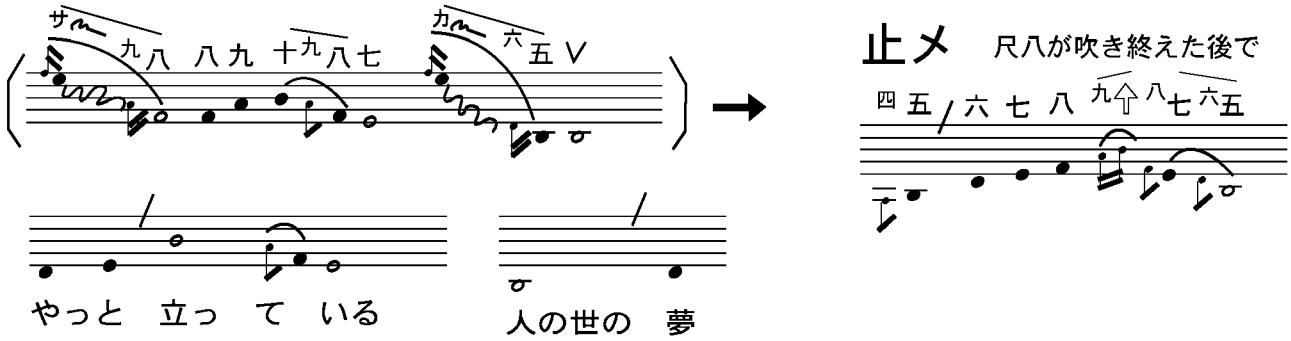

---



# 箏 6


かさなり　壁も　屋根　もない
骨だけになってしまった


またたき　の　いお　り
ささえあって


止メ　尺八が吹き終えた後で
やっと　立っ　て　いる
人の世の　夢

三絃 1

# 瞬庵

（2001年）

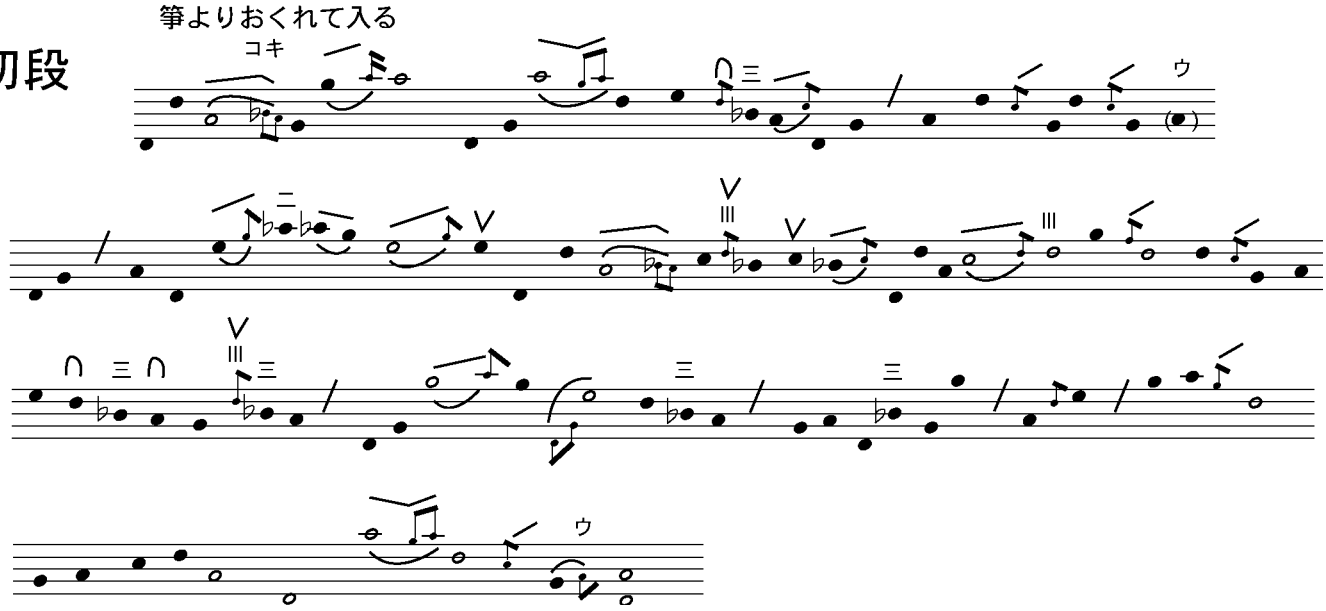
勅使河原宏の追憶に

演奏法：
楽譜はだいたいのもの　変えてもよい
拍はない　他の楽器とそろえない
きこえる音のあいまにじぶんの音色を差し入れるようにして
一音ずつ間をつめ　あるいはひらく

三絃

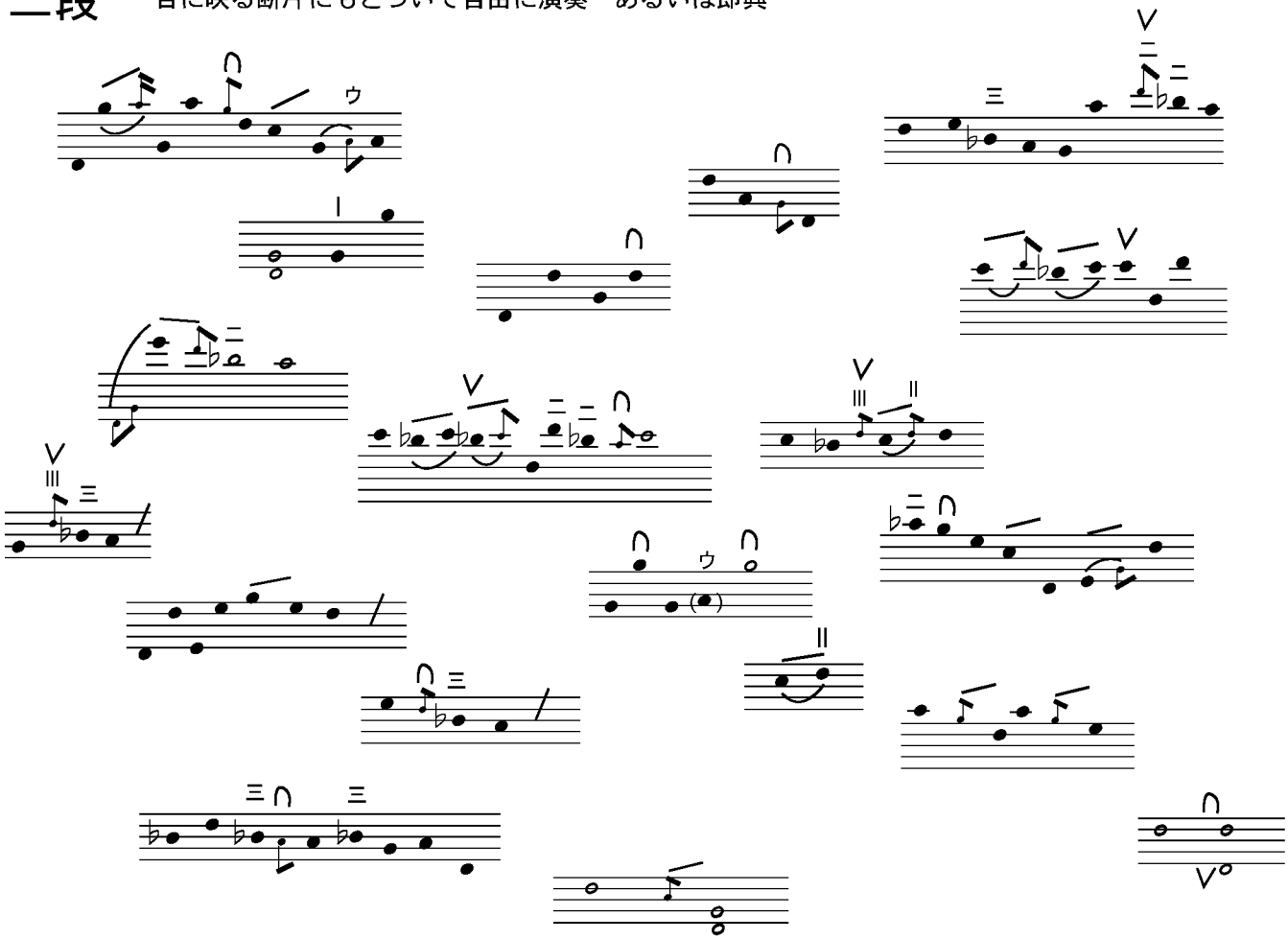
調絃：
他の楽器とはすこしずれるように　完全に合わせない
Ｄ、Ｇ、Ａ、Ｃ以外の勘所は低めにとる

## 初段

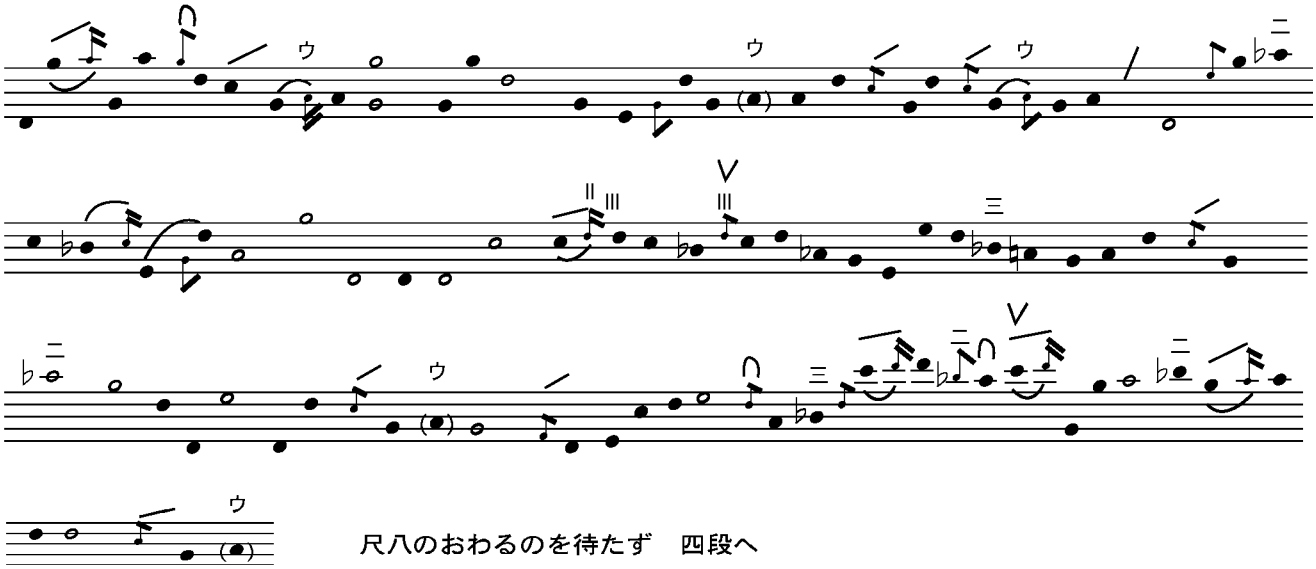


# 三絃 2

## 二段　目に映る断片にもとづいて自由に演奏　あるいは即興



## 三段　箏・三絃はほぼ同時にはじめ　かなりおくれて　尺八が入る

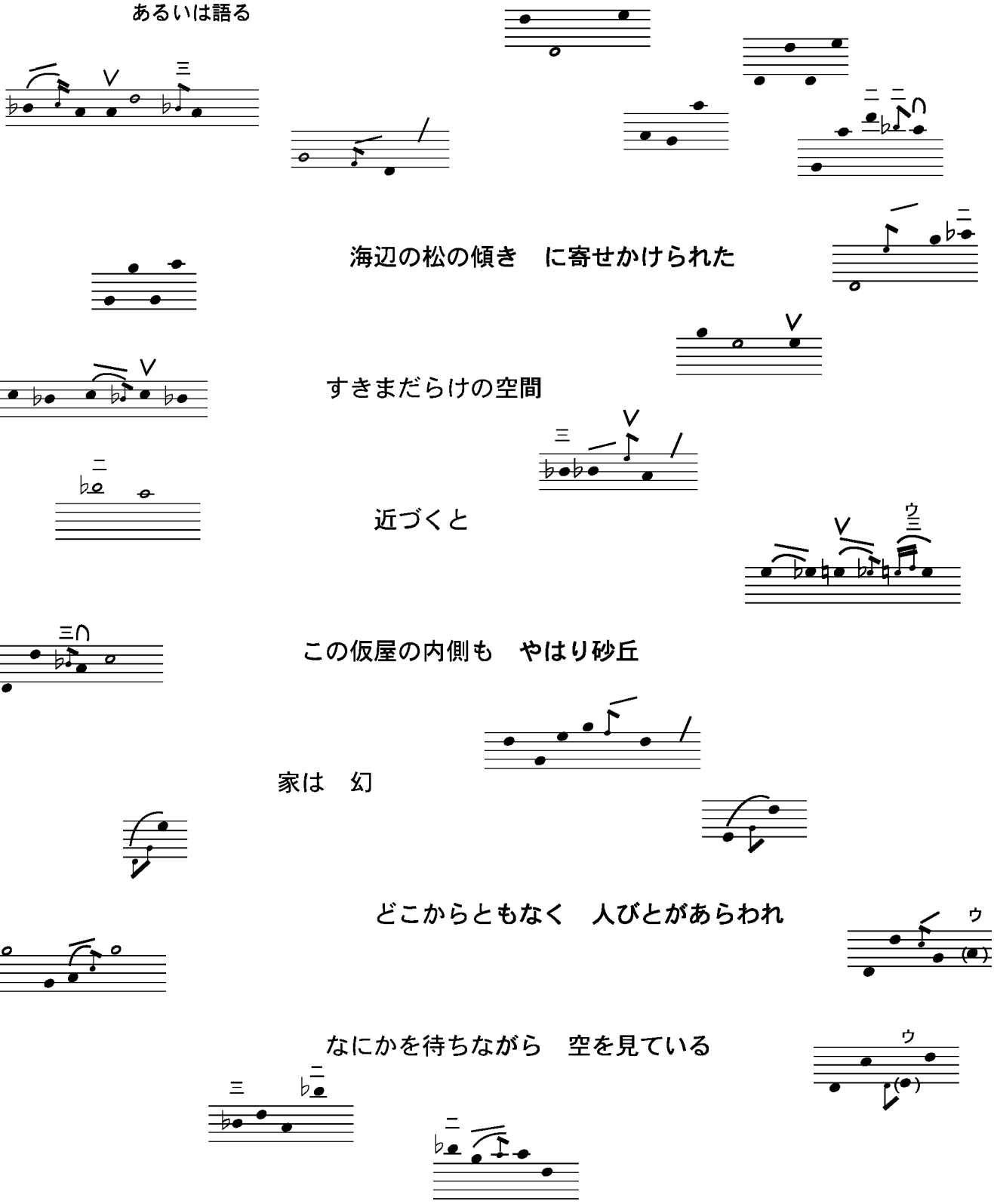


尺八のおわるのを待たず　四段へ

# 三絃 3

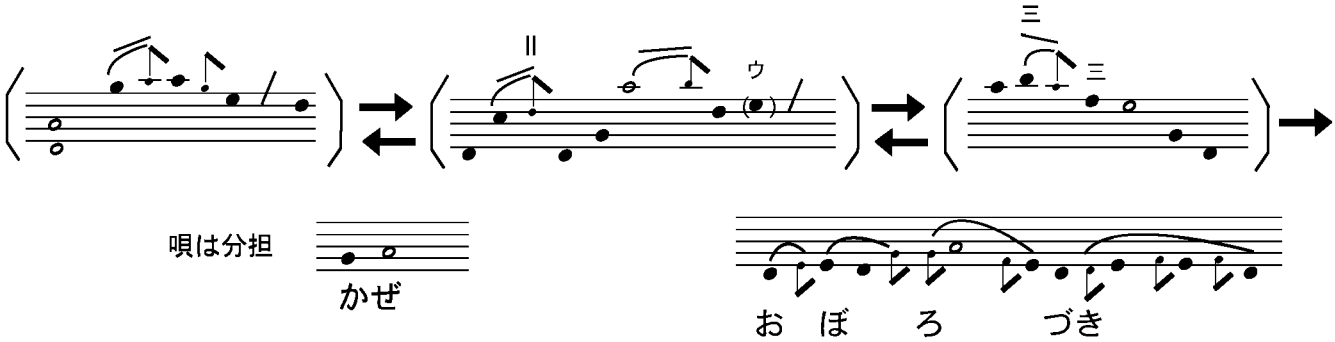
## 四段

箏　三絃　目に映る断片を演奏　あるいは即興
尺八がおわるとひときわ暗くなり　そのなかで唄
唄は　次の詩句を箏・三絃で分担し
目に映る手に合わせ
あるいは手のあいまにうたい（フシは自由）
あるいは語る



# 三絃 4

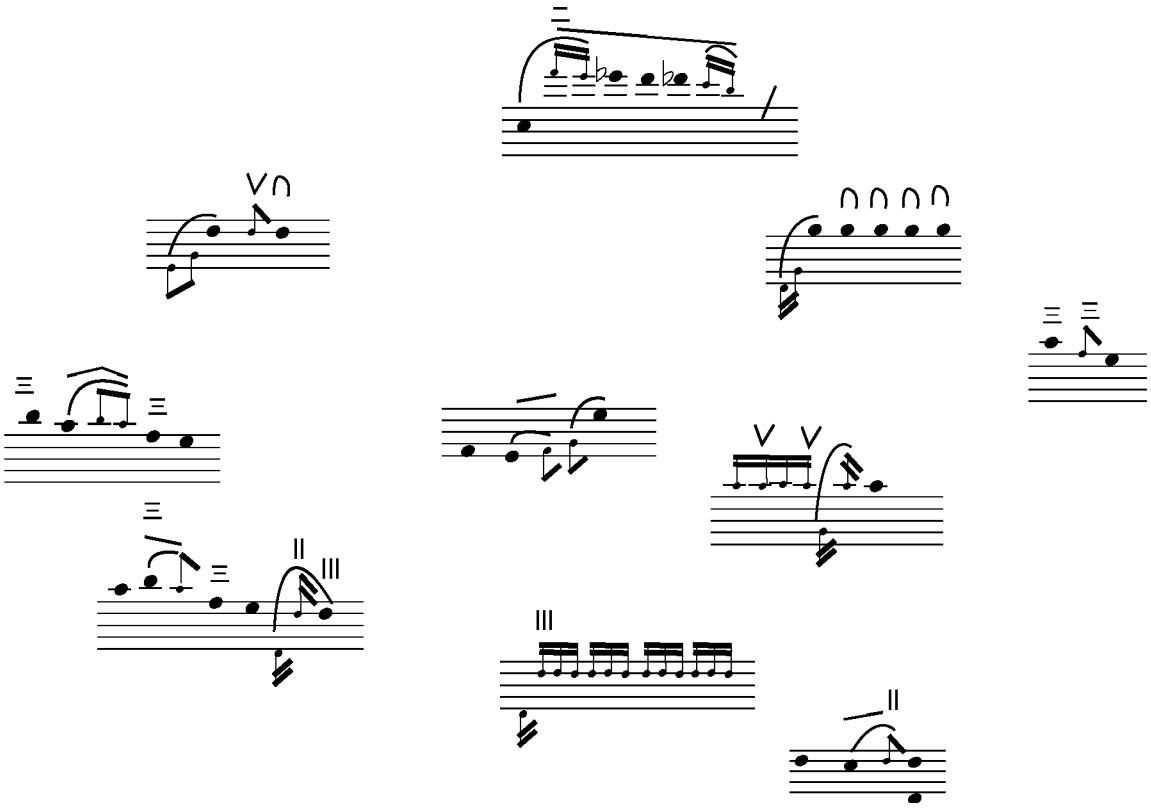
書かれた断片にもとづいて長く即興的に演奏し
しだいに次の断片に移る
前にもどってもよい




---

## 合の手

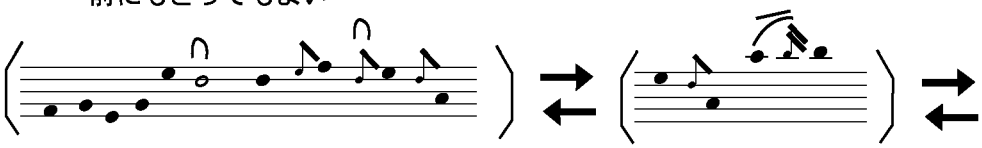
目に映る断片にもとづいて自由に演奏　あるいは即興



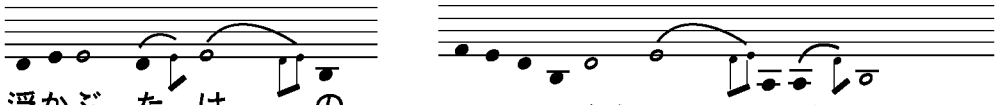
# 三絃 5

## 後唄

書かれた断片にもとづいて長く即興的に演奏し
しだいに次の断片に移る
前にもどってもよい



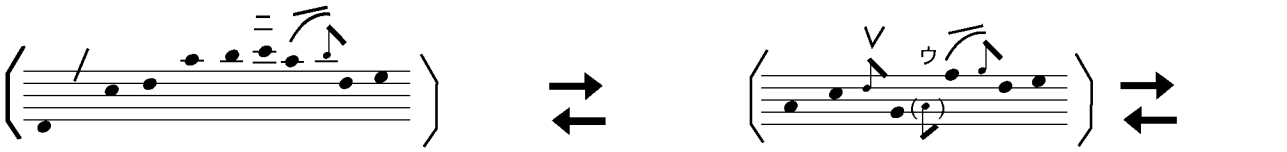
唄は分担

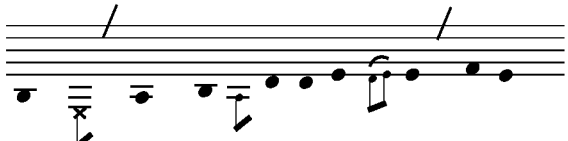


浮かぶ　た　け　の
（竹）

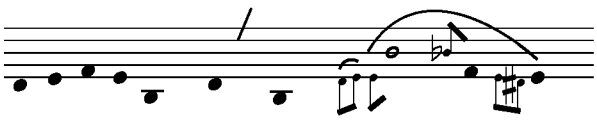
ほのかな金色の　曲が　り

---



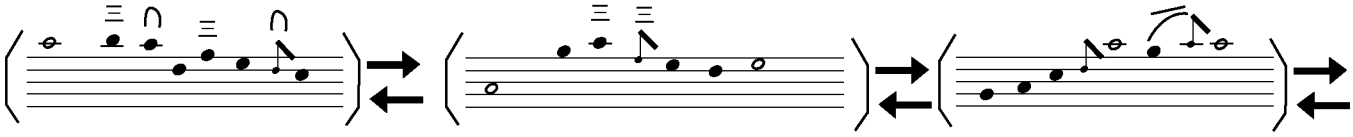


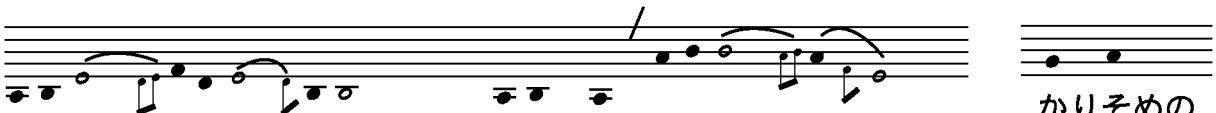
足許に　ささやくともしびの　れつ
（灯火）　（列）



ゆらめく人影の　ちゃかい
（茶会）

---



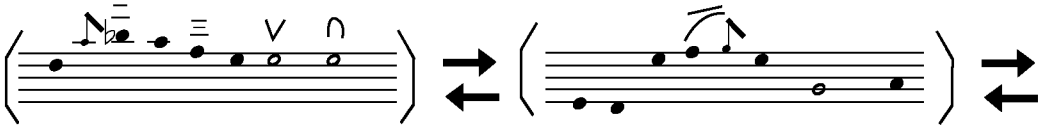


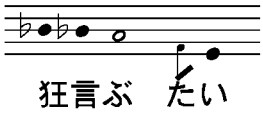
まばら　なたけ　のトンネルをくぐって　まよい　出　る
（竹）



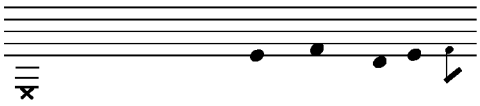
かりそめの

---



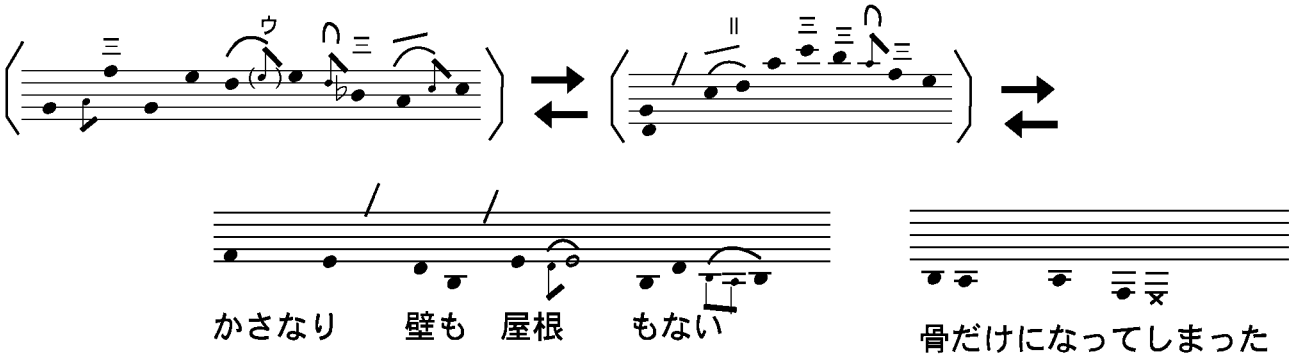


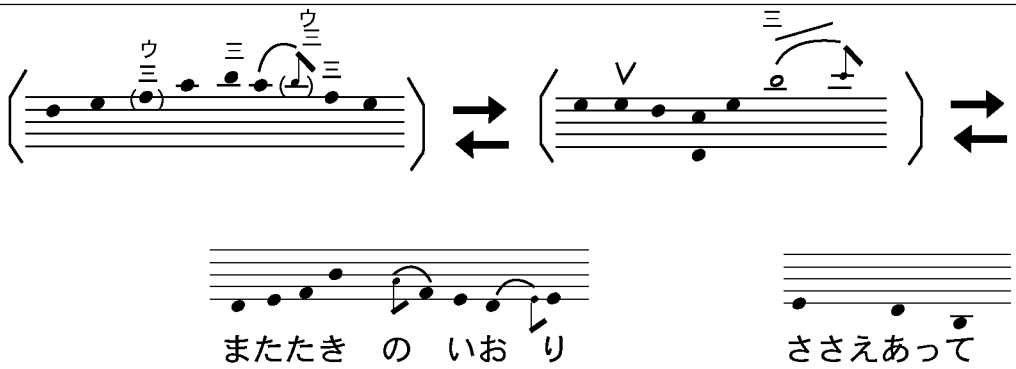
狂言ぶ　たい
（舞台）

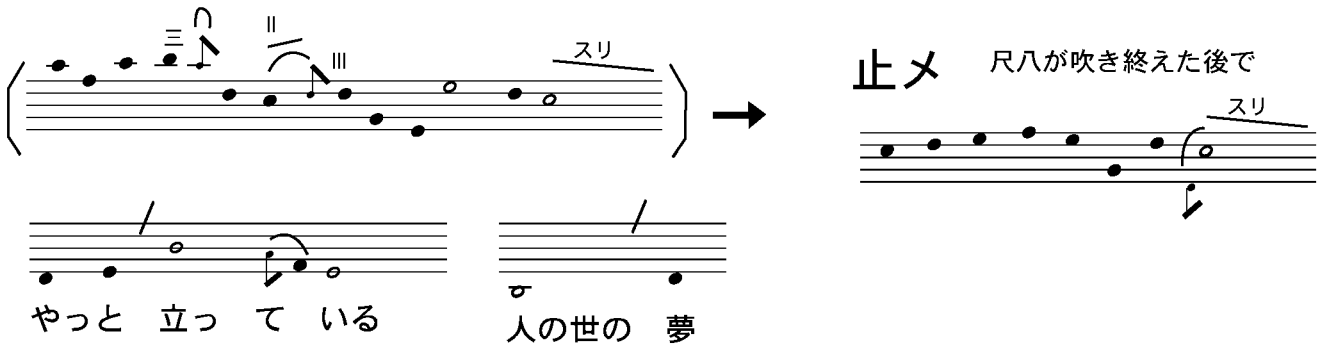


偶然にまかせて切られた窓枠が

# 三絃 6


かさなり　壁も　屋根　もない
骨だけになってしまった


またたき　の　いお　り
ささえあって


スリ
止メ
尺八が吹き終えた後で
スリ
やっと　立っ　て　いる
人の世の　夢

尺八１

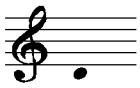
# 瞬庵

（2001年）

勅使河原宏の追憶に

演奏法：
楽譜はだいたいのもの　変えてもよい
拍はない　他の楽器とはそろえない
きこえる音のあいまにじぶんの音色を差し入れるようにして
一音ずつ間をつめ　あるいはひらく

一尺八寸

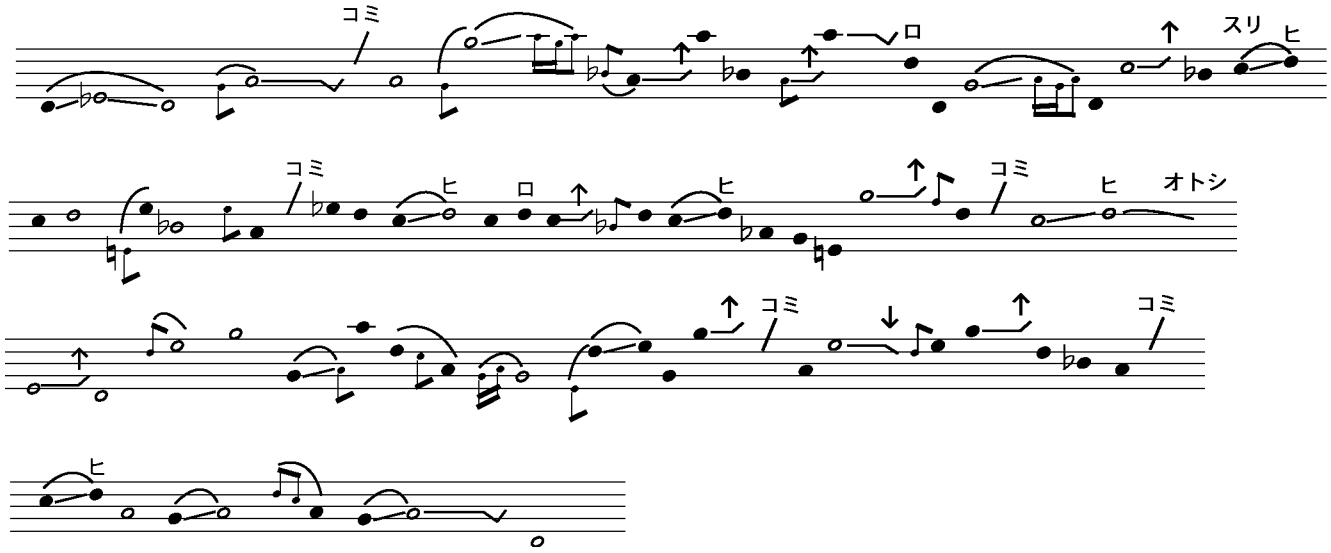


調律：
他の楽器とはすこしずれるように　完全に合わせない
Ｄ、Ｇ、Ｃ以外の音は低め（メリ気味）にとる
スリは上がりきらないように

初段、二段は休み

## 三段

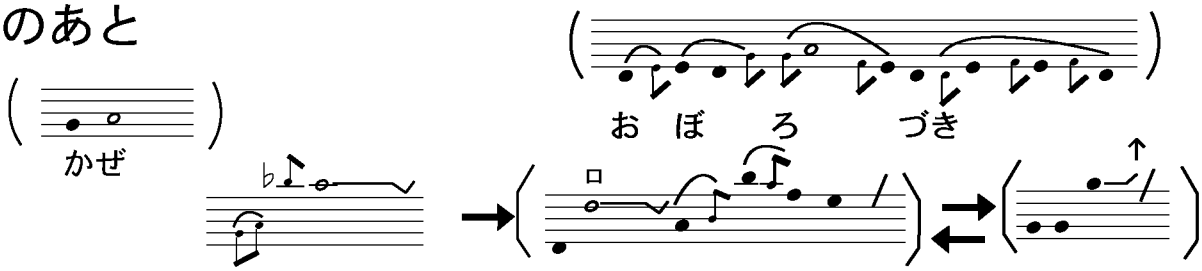
箏・三絃よりかなりおくれて入り、他が四段に入っても最後まで吹く



# 尺八 2

四段は休み

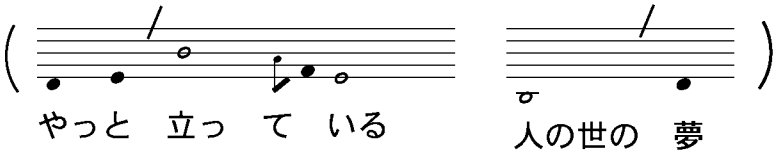
## 四段のあと

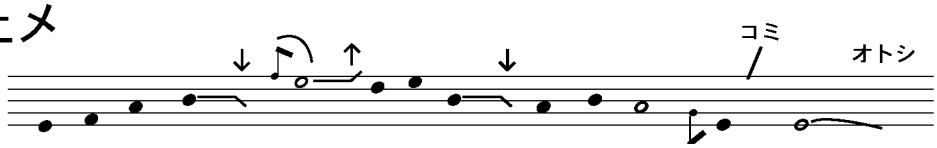



書かれた断片にもとづいて長く即興的に演奏し
しだいに次の断片に移る
前にもどってもよい

合の手は休み

## 後唄……




## 止メ